

# 「グリーンNTT西日本戦略」を 全社員一丸となって取り組むことで、 環境負荷の低減に一層、 貢献していきます。

西日本電信電話株式会社  
代表取締役社長

## 村尾 和俊



NTT西日本グループでは、年間約20億kWhにも及ぶ大量の電力を消費する企業の責務として、環境問題の解決に積極的に取り組んでいます。より一層、電力使用量削減等の環境負荷低減に全力で取り組むことを宣言した「グリーンNTT西日本戦略」を2012年6月に策定しています。この戦略の三本柱である「環境グランドデザインの達成」、「環境・エネルギー事業の展開」、「生物多様性保全活動の推進」に向け、2014年度は以下のように取り組んできました。

1つ目の柱である「環境グランドデザインの達成」では、①地球温暖化対策、②紙資源削減、③廃棄物削減に向けた2020年度目標を定めています。

温暖化対策においては、総電力使用量を2010年度に比べ20%以上削減することを目標にしていますが、2014年度は、2013年度における総電力使用量から約5千万kWhもの電力（一般家庭約14,000世帯もの電力量に相当）を削減しており、計画は順調に進んでいます。なお、主な取り組み内容としては、オフィスビルの照明照度の適正化（間引き）やLED化、室内温度管理の徹底等、照明・空調設備の省電力化を行いました。また、フロアや組織単位で一斉に休暇を取得する等、さらなる節電効果をめざした取り組みも行いました。通信設備では、省エネ型空調機器への更改やシーズン前の空調室外機洗浄の徹底、通信機械室やデータセンターでの直接外気冷房等による電力削減の取り組みを実施しました。

紙資源削減においては、最も紙使用量の多い電話帳について、発行部数の適正化を図るため、新しく電話を設置されるお客様や転居をされるお客様には電話帳の要否確認の徹底を図り、ご不要なお客様には配布を控えさせていただく等の対応を行っています。また、古い電話帳を回収し、新しい電話帳用紙に再生する「電話帳クロースドープリサイクルシステム」を確立することで、純正パルプ使用量の削減にも取り組んでいます。その他、日々の業務で利用する事務用紙を1枚でも削減するために、ペーパーレス

会議の推進、両面・集約印刷の徹底、複合機の適正配置等の対策を実施する等、業務スタイルの見直しも進めています。

廃棄物削減においては、オフィス内で不要となった物品について、組織内でリユースを徹底する等、廃棄物の削減に努めました。撤去通信設備等の産業廃棄物についても、再利用できるものは、清掃や補修によりリサイクルを徹底させ、再利用できないものについては、マテリアルリサイクルを徹底する等の工夫を図りました。また、建築工事現場代理人への環境教育により、工事で発生した廃棄物の分別・リサイクルの促進も行いました。これらの取り組みにより、廃棄物全体の最終処分率は、3年連続で1%未満となり、ゼロエミッション\*を達成することができました。

2つ目の柱である「環境・エネルギー事業の展開」では、ICT（情報通信技術）を利活用した環境負荷低減への貢献を進めています。例えば、「光BOX+」を用いて、家庭の電気使用状況が把握できるアプリの開発や、スマートメーターのデータを収集し、アライアンスパートナーへ提供することで、温暖化防止に役立つ新たなサービスの開発をめざしています。

3つ目の柱である「生物多様性保全活動の推進」では、「NTT西日本みどりいっぱいプロジェクト」を軸として活動を行ってきました。当初は、18府県で2,000名規模の活動でしたが、2014年度には全30府県で11,526名が参加するまでの活動に広がりました。今後も、この活動に参加する新規参加者数をさらに増やし、生物多様性保全活動の意義を1人でも多くの社員が理解できるように取り組んでいきます。

これからも、NTT西日本はグループの社員一人ひとりが一丸となってグリーンNTT西日本戦略への取り組みを積極的にかつ継続して実施することで、より一層の環境負荷低減に貢献していきます。

\*国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物が他の産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産をめざそうとするもの。NTTグループでは、最終処分率1.0%以下をゼロエミッションと定義。